

さい 17歳のポケット

山田 かまち/著 集英社 911㇏

君の言葉が勇気をくれた

10代の心の揺れをつづった詩と、鮮やかな色彩の絵を残した少年の詩画集。「かまち、おまえは人に好かれるか好かれないかということできているのではなかったはずだ。」(『生きる』より)。

ちゅうがくえいご にほん しょうかい ほん 中学英語で日本を紹介する本

デ化'ット・セイン/著 河出書房新社 837㇏

日本のことを知ってほしい

2020年のオリンピックに向けて、日本に多くの外国人が訪れることでしょう。困っている人に出会ったら力になってあげたいですね。英語で日本を紹介しようとする中で、日本を再発見することもあります。まずは気軽に手に取ってみて！

駅鈴 (はゆまのすず)

久保田 香里/作 くもん出版 913.6㇏

重大な知らせを伝える



奈良時代、国家の一大事を伝えるために置かれた駅家(うまや)。使者は駅鈴を鳴らしながら馬を走らせました。その使者を次の駅家まで送り届けるのが駅子(うまやのこ)の役目です。

時代の波にもまれながら、駅子を目指した13歳の少女の物語。

ちい うたうとは小さいのちひろいあげ

そら ちゅうしん
空はいまぼくらふたりを中心に

せいしゅん も
青春は燃えるゴミではありません

村上 しいこ/著 講談社 913.6㇏

三十一文字に想いをのせて

短歌甲子園3部作。うたうとは、喜怒哀楽(きどあいらく)という「種」に水や養分や光を与え育(はぐく)ませること。3冊の本の題名は、高校生が詠(よ)んだ連歌(れんが)の上の句です。これに連なる下の句をぜひ本編で読んでほしい！

伝える



「伝える」形はいろいろですが、そこには必ず「伝えたい気持ち」があります。

こいぶみ ぎじゅつ 恋文の技術

森見 登美彦/著 ポプラ社 913.6㇏

書く楽しさ、待つ楽しさ

京都の大学院から田舎(いなか)の実験所に飛ばされた守田(もりた)。退屈のあまり知人に手紙を書きまくりです。実は、これは片思い中の伊吹(いぶき)さんに恋文を書くための修行なのです。

彼女への手紙の失敗集は傑作(笑)。本当に、恋文の技術は身につくのか。楽しく読める1冊です。

しゅんぶうていいちのすけ らくごにゅうもん 春風亭一之輔のおもしろ落語入門

春風亭 一之輔/落語 山口 晃/画

小学館 913㇏

昔の人の暮らしを伝える

落語とは、着物で高座(こうざ)という舞台の座布団(ざぶとん)に座り、一人で語る芸のこと。使う小道具は扇子(せんす)と手ぬぐいだけです。

あくびの稽古(けいこ)をする「あくび指南(しなん)」など7つの楽しい古典落語をどうぞ！



こちらの小説もオススメ

『しゃべれどもしゃべれども』
佐藤 多佳子/著
新潮社 913.6㇏

カブキブ!

榎田 ユウリ/著 KADOKAWA 913.6㇏

知らざあ言って聞かせやしょう~



歌舞伎って面白い。だから部活でやってみたい!「カブキブ」をつくるために、親友のトンボと仲間を集め始めたクロ。部員候補に声をかけると、まさかの全員お断り!はたしてクロは、みんなを仲間にして歌舞伎の上演をすることができるのか?

こちらの入門書もオススメ

『歌舞伎一年生』
中川 右介/著
筑摩書房 774㇏

